

各 位

会 社 名 太平化学製品株式会社

代表者名 代表取締役社長 瀬戸口 照弘
(コード番号・4223)

問合せ先 経営管理部長 龍造寺 秀樹
電 話 048 - 222 - 1122

通期業績予想（連結及び個別）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成21年10月28日付で公表いたしました平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）の業績予想及び平成21年5月12日付「平成21年3月期 決算短信」で公表いたしました期末配当予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成22年3月期通期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）業績予想の修正

（1）連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,300	250	210	105	8.54
今回修正予想 (B)	6,800	190	150	50	4.07
増減額 (B) - (A)	△ 500	△ 60	△ 60	△ 55	△ 4.47
増減率 (%)	△ 6.8	△ 24.0	△ 28.6	△ 52.4	△ 52.3
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	8,002	117	95	51	4.15

（2）個別業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,280	250	210	105	8.54
今回修正予想 (B)	6,780	190	150	50	4.07
増減額 (B) - (A)	△ 500	△ 60	△ 60	△ 55	△ 4.47
増減率 (%)	△ 6.9	△ 24.0	△ 28.6	△ 52.4	△ 52.3
(ご参考) 前期実績 (平成21年3月期)	7,980	107	93	49	4.06

（3）修正の理由

前回予想時点では一部分野での需要回復や経済対策効果を考慮し、ある程度の景気回復による売上増を見込んでおりました。しかし、下期も引き続き円高やデフレの進行に加え、経済対策の息切れ懸念、雇用不安等も相俟って厳しい状況が続いています。

かかる環境下、当社グループは売上及び収益の落ち込みを少しでも阻止すべく、引き続き、拡販、新規製品の開発・上市、労務費・修繕費を中心とする各種経費節減等に取り組みました。

しかし、依然として需要は縮小均衡状態が続いており、売上高は前回予想を下回る見通しとなりましたことから業績予想を修正いたします。

また、各利益につきましても前述の売上減少の影響を受けて前回予想を下回る見込であることから、同じく業績予想を修正いたします。

2. 平成22年3月期（平成21年4月1日～平成22年3月31日）期末配当予想の修正

（1） 修正の内容

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前回予想 （平成21年5月12日発表）	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 5.00
今回修正予想	—	—	—	2.50	2.50
当期実績	—	—	—		
前期実績 （平成21年3月期）	—	—	—	2.50	2.50

（2） 修正の理由

上記業績予想の修正のとおり、個別の業績予想が前回予想を下回ることが見込まれることや、今後の厳しい経営環境に備えるため、遺憾ながら1株2円50銭（前回予想5円00銭）に修正させていただきます。

以 上